# 千葉市感染症発生動向調査情報

2024年 第12週 (3/18-3/24) の発生は?

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

1 足点我自为多次感(丑规必未准/						
	報告のあった定点数	定点	12週	11週	10週	9週
上段:患者数		小児科	18	18	18	18
		眼科	5	5	5	5
下段:	定点当たりの報告数	*インフル/COVID	28	28	28	28
Гф	3占当たいの起生物 レけ	基幹	1	1	1	1

\*正式名称は

インフルエンザ/COVID-19定点

定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数

		Ŧ		葉		市	千葉県
定点	感 染 症 名	<b>分音和</b>	3/18-3/24	3/11-3/17	3/4-3/10	2/26-3/3	3/11-3/17
灬		注意報	12週	11週	10週	9週	11週
	RSウイルス感染症		6	2	2	1	20
	R3ツイル入窓未延		0.33	0.11	0.11	0.06	0.16
	咽頭結膜熱		2	3	6	8	70
	"四项型印度大尔(		0.11	0.17	0.33	0.44	0.56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 1	65	89	101	81	774
	, 41/11—12-> > 47/11-124.X		3.61	4.94	5.61	4.50	6.19
	感染性胃腸炎	1 1	91	121	129	106	642
		* *	5.06	6.72	7.17	5.89	5.14
小	水痘		2	8	1	5	27
· 児			0.11	0.44	0.06	0.28	0.22
科	手足口病		0	0 00	0.00	0 00	7
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
	伝染性紅斑		0.17	0.00	0.00	0.00	0.00
			5	7	7	8	0.03 23
	突発性発しん		0.28	0.39	0.39	0.44	0.18
	ヘルパンギーナ		0.20	0.53	0.00	0.44	0.16
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1	0.00	0	0.00	4
	流行性耳下腺炎		0.06	0.00	0.00	0.00	0.03
*	インフルエンザ	_A_ 1	554	625	580	375	4,659
インフル	(高病原性鳥インフルエンザを除く)	*↓	19.79	22.32	20.71	13.39	23.06
/COV	新型コロナウイルス感染症	↓ ↓	112	147	143	116	1,415
ID		1 1	4.00	5.25	5.11	4.14	7.00
	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
眼			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
科	流行性角結膜炎		1	0	1	1	10
			0.20	0.00	0.20	0.20	0.29
	<b>クラミジア肺炎</b> (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	細菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
基幹	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
軒			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	<b>感染性胃腸炎</b> (ロタウイルスに限る)		0 00	0.00	0 00	0	0 00
	(ロダワイル人に限る)	5行由 <b>⋒</b> ·懂:	0.00 m ○·かか#	0.00	0.00	0.00	60.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

#### 2 全数報告対象疾患: 4 例

	30 1///	<u> </u>	1 123				
病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	80歳代	病原体の分離・同定
結核	女性	80歳代	IGRA検査	梅毒	男性	60歳代	血清抗体の検出
E型肝炎	男性	60歳代	血清IgA抗体の検出	-	-	-	-

<sup>・</sup>第12週は、結核2例(38)、E型肝炎1例(5)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(1)、梅毒1例(20)の発生届があった。

※ ()内は2024年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第12週のコメント

## <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週より減少し3.61となったが、過去10年の同時期と比べると引き続き最多のまま。年齢階級別の報告数は6歳が最多。区別では、緑区(7.25)が流行発生警報終息基準値(4.0)を上回り最多で6歳の報告が最も多かった。

### <感染性胃腸炎>

前週より減少し5.06となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。年齢階級別の報告数は2歳及び3歳が最多。区別では、若葉区(12.50)からの報告が最多で4歳の報告が最も多かった。

#### **くインフルエンザ>**

前週よりやや減少し19.79となったが、依然として流行発生注意報基準値(10.0)を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると最多のままで、10歳未満の年齢階級別の報告数は8歳が最も多かった。区別では、緑区(33.00)が流行発生警報開始基準値(30.0)を上回ったまま最多で10歳未満では8歳の報告が最も多くあった。他に中央区(27.40)が流行発生警報終息基準値(10.0)を上回り、稲毛区(16.00)、若葉区(16.00)及び美浜区(14.50)が流行発生注意報基準値を上回った。

#### く新型コロナウイルス感染症>

前週より減少し4.00となった。年齢階級別の報告数は50歳代が最多。区別では、中央区(7.60)からの報告が最多で20歳代の報告が最も多かった。

- 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。
- 過去10年との比較グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf

区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph ward2023.pdf